令和５年度　第１回　高松市国民健康保険運営協議会

日時：令和５年８月１７日（木）１５時００分～

場所：高松市役所　３階　３２会議室

目　次

【報告事項】

１　令和４年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算について　・・・・　１

２　令和５年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算について　・・・・　８

３　赤字解消・削減計画実施状況報告について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

４　高松市国民健康保険料収納率向上プランの報告について　・・・・・・・・・・・・１６

５　第２期高松市データヘルス計画の仮評価について　・・・・・・・・・・・・・・・２１

報告事項
１　令和４年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算について

予算

（億円）

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　77.8	総務費　6.1
国・県支出金　319.0	保険給付費　315.0
繰入金　39.6 （法定外5.2）	国民健康保険納付金 111.7
諸収入　1.6	保健事業費　4.9
その他　0.2	その他　0.5

令和３年度　438.2億円

（億円）

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　75.1	総務費　5.9
国・県支出金　311.2	保険給付費　307.1
繰入金　37.0 （法定外2.0）	国民健康保険納付金 106.3
諸収入　1.3	保健事業費　4.9
その他　0.1	その他　0.5

令和４年度　424.7億円

（億円）

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　74.9	総務費　5.7
国・県支出金 301.7	保険給付費 298.4
繰入金　36.1 （法定外0.03）	国民健康保険 納付金　104.6
諸収入　1.1	保健事業費　4.7
その他　0.1	その他　0.5

令和５年度　413.9億円

決算

（億円）

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　79.9	総務費　5.8
国・県支出金　312.3	保険給付費　307.4
繰入金　36.6 （法定外0）	国民健康保険納付金 111.7
諸収入　1.1	保健事業費　4.3
その他　0.1	その他　0.8

令和３年度　430.0億円

（億円）

≪歳入≫	≪歳出≫
保険料　75.8	総務費　5.5
国・県支出金　304.8	保険給付費　299.6
繰入金　35.3 （法定外0）	国民健康保険納付金 106.3
諸収入　0.5	保健事業費　4.0
その他　0.3	その他　1.3

令和４年度　416.7億円

令和４年度決算額との比較

（億円）

歳入科目		Ｒ３決算	Ｒ４予算	Ｒ４決算見込	Ｒ４決算
国民健康保険料		79.9	75.1	75.8	75.8
	対R4決算比	4.1	▲ 0.7	0.0	
国・県支出金		312.3	311.2	311.2	304.8
	対R4決算比	7.5	6.4	6.4	
諸収入		1.1	1.3	0.5	0.5
	対R4決算比	0.6	0.8	0.0	
繰入金		36.6	37.0	37.0	35.3
	対R4決算比	1.3	1.7	1.7	
（繰入金のうち法定外）		0.0	2.0	0.0	0.0
	対R4決算比	0.0	2.0	0.0	
その他		0.1	0.1	0.1	0.3
	対R4決算比	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	
歳入計		430.0	424.7	424.6	416.7
	対R4決算比	13.3	8.0	7.9	
法定外繰入を除く歳入計	＜A＞	430.0	422.7	424.6	416.7
	対R4決算比	13.3	6.0	7.9	

		Ｒ３決算	Ｒ４予算	Ｒ４決算見込	Ｒ４決算
黒字額又は赤字額	＜A＞－＜B＞	0.3	▲ 2.0	0.0	0.7

（億円）

歳出科目		Ｒ３決算	Ｒ４予算	Ｒ４決算見込	Ｒ４決算
総務費		5.8	5.9	5.8	5.5
	対R4決算比	0.3	0.4	0.3	
保険給付費		307.4	307.1	307.1	299.6
	対R4決算比	7.8	7.5	7.5	
国民健康保険事業費納付金		111.7	106.3	106.3	106.3
	対R4決算比	5.4	0.0	0.0	
保健事業費		4.3	4.9	4.8	4.0
	対R4決算比	0.3	0.9	0.8	
翌年度繰越		0.3	0.0	0.0	0.7
	対R4決算比	▲ 0.4	▲ 0.7	▲ 0.7	
その他		0.5	0.5	0.6	0.6
	対R4決算比	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	
歳出計		430.0	424.7	424.6	416.7
	対R4決算比	13.3	8.0	7.9	
翌年度繰越を除く歳出計	＜B＞	429.7	424.7	424.6	416.0
	対R4決算比	13.7	8.7	8.6	

令和４年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）決算

■決算総額は、416.7億円…対前年度決算比13.3億円（3.1%）の減

【歳入】

・保険料収入の減	▲４．１億円
・国庫支出金の減	▲０．５億円
・県支出金の減	▲７．０億円
・繰入金の減	▲１．３億円
・諸収入の減	▲０．６億円
（※法定外繰入は、前年度と同様に０円）	
・前年度繰越金の皆増	０．２億円

【歳出】

・総務費の減	▲０．３億円
・国民健康保険事業費納付金の減	▲５．４億円
・保険給付費の減	▲７．８億円
・保健事業費の減	▲０．３億円
・諸支出金の増	０．１億円
・翌年度繰越金の増	０．４億円

■国民健康保険料は、75.8億円…対前年度決算比4.1億円（5.1%）の減

・被保険者数の減に伴う保険料収入の減（R3　78,474人→　R4　75,056人）　▲４．１億円

■国民健康保険事業費納付金は、106.3億円…対前年度決算比5.4億円（4.9%）の減

・被保険者数の減等に伴う国民健康保険事業費納付金の減　▲５．４億円

歳入・歳出決算状況（款別）

※決算状況の詳細については、別冊Ｐ1～4を参照

歳入科目	Ｒ３決算(千円)	Ｒ４決算 (千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
国民健康保険料	7,988,170	7,578,477	▲ 409,693	▲5.1%
一部負担金	0	0	0	―
使用料及び手数料	3,936	3,652	▲ 284	▲7.2%
国庫支出金	47,268	1,624	▲ 45,644	▲96.6%
県支出金	31,181,823	30,481,380	▲ 700,443	▲2.2%
財産収入	0	0	0	―
繰入金	3,664,076	3,528,335	▲ 135,741	▲3.7%
（うち法定外）	0	0	0	―
繰越金	0	25,710	25,710	皆増
諸収入	112,136	51,251	▲ 60,885	▲54.3%
計	42,997,409	41,670,429	▲ 1,326,980	▲3.1%

歳出科目	Ｒ３決算(千円)	Ｒ４決算 (千円)	増減額(千円)	対前年度比(%)
総務費	576,234	546,990	▲ 29,244	▲5.1%
保険給付費	30,740,727	29,963,688	▲ 777,039	▲2.5%
国民健康保険事業費納付金	11,171,289	10,628,784	▲ 542,505	▲4.9%
保健事業費	432,530	402,475	▲ 30,055	▲6.9%
基金積立金	0	0	0	―
諸支出金	50,919	58,989	8,070	15.8%
翌年度繰越金	25,710	69,503	43,793	170.3%
計	42,997,409	41,670,429	▲ 1,326,980	▲3.1%

主な歳入決算の増減

■款：国民健康保険料

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
7,988,170千円	**7,578,477千円**	▲409,693千円	▲5.1%

・被保険者数の減に伴う保険料収入の減　【別冊P1、9】
（ R3 78,474人→　R4 75,056人）　▲約４．１億円

≪参考≫
・保険料収納率（現年度分）【別冊P10】
Ｒ３実績　91.54%　→　Ｒ４実績　91.31%
（▲0.23%）

■款：国庫支出金

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
47,268千円	**1,624千円**	▲45,644千円	▲96.6%

・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料収入の減に係る補助金の皆減（県支出金に移行）
▲約０．５億円

■款：県支出金

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
31,181,823千円	**30,481,380千円**	▲700,443千円	▲2.2%

・保険給付費の減に伴う普通交付金の減　▲約７．３億円
・特別調整交付金等の増に伴う特別交付金の増　約０．３億円

※新型コロナウイルス感染症の影響に伴う保険料収入の減に係る補助金分（国庫支出金からの移行分）を含む

■款：繰入金

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
3,664,076千円	**3,528,335千円**	▲135,741千円	▲3.7%

・基盤安定繰入金の減　▲約０．２億円
・法定内繰入金等の減　▲約１．１億円
・その他一般会計繰入金はR3決算に引き続き０円

主な歳出決算の増減

■款：総務費

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
576,234千円	**546,990千円**	▲29,244千円	▲5.1%

■款：国民健康保険事業費納付金

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
11,171,289千円	**10,628,784千円**	▲542,505千円	▲4.9%

・被保険者数の減等に伴う納付金の減　　▲約５．４億円

■款：保険給付費

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
30,740,727千円	**29,963,688千円**	▲777,039千円	▲2.5%

・一般被保険者療養給付費等の減　　▲約７．８億円

■款：保健事業費

R3決算	R4決算	増減額	対前年度比
432,530千円	**402,475千円**	▲30,055千円	▲6.9%

・特定健康診査委託料等の減　　▲約０．３億円

報告事項
２　令和５年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算について

令和５年度高松市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算

■予算総額は、413.9億円…対前年度予算比10.8億円（2.5%）の減

【歳入】

・保険料収入の減	▲０．２億円
・繰入金の減	▲０．９億円
・県支出金の減	▲９．６億円
・諸収入の減	▲０．１億円

【歳出】

・保険給付費の減	▲８．７億円
・国民健康保険事業費納付金の減	▲１．７億円
・保健事業費の減	▲０．２億円
・総務費の減	▲０．２億円

■県支出金は、301.7億円…対前年度予算比9.6億円（3.1%）の減

・Ｒ３保険給付費実績に伴う普通交付金の減　　▲９．０億円

■保険給付費は、298.4億円…対前年度予算比8.7億円（2.8%）の減

・保険給付費の減　　▲８．７億円

歳入・歳出予算状況（款別）

※予算状況の詳細については、別冊Ｐ5～8を参照

歳入科目	Ｒ４予算(千円)	Ｒ５予算（千円）	増減額(千円)	対前年度比(%)
国民健康保険料	7,510,588	7,492,317	▲ 18,271	▲0.2%
一部負担金	2	2	0	—
使用料及び手数料	5,015	5,018	3	0.1%
国庫支出金	0	901	901	皆増
県支出金	31,125,897	30,170,390	▲ 955,507	▲3.1%
財産収入	0	0	0	—
繰入金	3,697,916	3,604,301	▲ 93,615	▲2.5%
（うち法定外）	196,014	2,751	▲ 193,263	▲98.6%
繰越金	1	1	0	—
諸収入	129,565	114,845	▲ 14,720	▲11.4%
計	42,468,984	41,387,775	▲ 1,081,209	▲2.5%

歳出科目	Ｒ４予算(千円)	Ｒ５予算（千円）	増減額(千円)	対前年度比(%)
総務費	588,070	572,773	▲ 15,297	▲2.6%
保険給付費	30,710,425	29,835,953	▲ 874,472	▲2.8%
国民健康保険事業費納付金	10,628,793	10,458,334	▲ 170,459	▲1.6%
保健事業費	485,723	469,741	▲ 15,982	▲3.3%
基金積立金	0	0	0	—
諸支出金	55,973	50,974	▲ 4,999	▲8.9%
計	42,468,984	41,387,775	▲ 1,081,209	▲2.5%

主な歳入予算の増減

■款：国民健康保険料

R4当初予算	R5当初予算	増減額	対前年度比
7,510,588千円	**7,492,317千円**	▲18,271千円	▲0.2%

・医療給付費等現年分の減　▲約０．７７億円
・医療給付費分等滞納繰越分の増　約０．５８ 億円

■款：繰入金

R4当初予算	R5当初予算	増減額	対前年度比
3,697,916千円	**3,604,301千円**	▲93,615千円	▲2.5%

・法定内繰入金等の増　約１．０億円
・その他一般会計繰入金の減　▲約１．９億円

■款：県支出金

R4当初予算	R5当初予算	増減額	対前年度比
31,125,897千円	**30,170,390千円**	▲955,507千円	▲3.1%

・Ｒ３保険給付費実績に伴う普通交付金の減　▲約９．０億円
・保険給付費増に伴う特別交付金の減　▲約０．６億円

主な歳出予算の増減

■款：保険給付費

Ｒ４当初予算	Ｒ５当初予算	増減額	対前年度比
30,710,425千円	**29,835,953千円**	▲874,472千円	▲2.8%

・一般被保険者療養給付費の減　▲約７．６億円
・一般被保険者高額療養費の減　▲約１．２億円

■款：保健事業費

Ｒ４当初予算	Ｒ５当初予算	増減額	対前年度比
485,723千円	**469,741千円**	▲15,982千円	▲3.3%

・特定健康診査委託料等の減　▲約０．１億円

■款：国民健康保険事業費納付金

Ｒ４当初予算	Ｒ５当初予算	増減額	対前年度比
10,628,793千円	**10,458,334千円**	▲170,459千円	▲1.6%

・一般被保険者医療給付費等の減　▲約３．２億円
・一般被保険者後期高齢者支援金等の増　約１．５億円

報告事項
３　赤字削減・解消計画実施状況報告について

赤字削減・解消変更計画に関する考え方

令和４年度変更計画における赤字解消見込表　①当初削減対象額：▲775,297千円（H28決算時の法定外繰入額）

（千円）

年度	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４（予算）	Ｒ５（予算）	Ｒ６（赤字0想定）	Ｒ７（赤字0想定）	Ｒ８（赤字0想定）	Ｒ９（赤字0想定）	計	考え方
②赤字削減目標額（現行計画）	172,691	49,309	77,530	77,530	77,530	77,530	77,530	77,530	77,530	10,587	775,297	計画記載の削減目標額
③目標反映赤字繰入金（現行計画）	▲ 602,606	▲ 553,297	▲ 475,767	▲ 398,237	▲ 320,707	▲ 243,177	▲ 165,647	▲ 88,117	▲ 10,587	0	－	H30：①+② R元～：前年度③+②
④赤字繰入金（単年度）	▲ 1,677,640	▲ 1,484,357	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 3,161,997	策定後に発生した赤字
⑤効果額（単年度）	▲ 1,075,034	▲ 931,060	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	4,196,282	赤字繰入有：④－③ 赤字繰入無：①×（－１）
⑥次年度への繰越金（単年度）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	決算時の額

令和５年度変更計画における赤字解消見込表　①当初削減対象額：▲775,297千円（H28決算時の法定外繰入額）

（千円）

年度	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４（予算）	Ｒ５（予算）	Ｒ６（赤字0想定）	Ｒ７（赤字0想定）	Ｒ８（赤字0想定）	計	考え方
②赤字削減目標額（現行計画）	172,691	49,309	77,530	77,530	77,530	77,530	77,530	77,530	88,117	775,297	計画記載の削減目標額
③目標反映赤字繰入金（現行計画）	▲ 602,606	▲ 553,297	▲ 475,767	▲ 398,237	▲ 320,707	▲ 243,177	▲ 165,647	▲ 88,117	0	－	H30：①+② R元～：前年度③+②
④赤字繰入金（単年度）	▲ 1,677,640	▲ 1,484,357	0	0	0	0	0	0	0	▲ 3,161,997	策定後に発生した赤字
⑤効果額（単年度）	▲ 1,075,034	▲ 931,060	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	775,297	3,420,985	赤字繰入有：④－③ 赤字繰入無：①×（－１）
⑥次年度への繰越金（単年度）	0	0	0	25,710	60,976	0	0	0	0	86,686	決算時の額

差し引き　345,674千円

赤字削減･解消変更計画書（市町村）　（案）

（平成３０年度から令和５年度まで６ヵ年計画）

都道府県名	保険者番号	保険者名
香川県	1	高松市

①赤字の発生状況	年度（赤字発生年度）	平成28年度	赤字の原因
	法定外繰入金 ※１	775,297千円	被保険者数の減少に伴い、全体の診療費も減少しているが、高齢化の進展や医療技術の高度化により、一人当たりの診療費は増大している。一方、被保険者数の減少や収納率の低下等に伴い保険料収納額は減少傾向となっている。また、本市の国民健康保険の被保険者の約46%が所得がない状態であるなど、低所得者が多いことも本市国保財政の赤字の原因となっている。
	繰上充用金の新規増加分 ※２	0千円	
	赤字額（合計）	775,297千円	

② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針	赤字削減・解消のための具体的取組内容
	①保険料の適正化に向けた検討や収納対策の強化 ②事業内容の総点検及び見直しや、県支出金等の更なる公費の獲得 ③各種保健事業の取組強化及び医療費の適正化 ※赤字解消目標年度　令和８年度（平成２８年度決算における赤字（決算補填目的）約7.8億円を解消するための目標年度）	①令和２年度保険料改定（被保険者1人当たりの保険料＋14,703円）後の国保財政状況の把握・分析を行うとともに、県内保険料水準の統一化も見据えながら、安定的かつ持続可能な国保運営のために必要な金額及び適正な保険料水準について検討を重ねる。また、令和４年度に策定した「高松市国民健康保険料収納率向上プラン」に基づき、効果的な収納対策に取り組む。 ②歳出面では、事務の総点検及び見直しを行い、経常経費の削減に取り組む。歳入面では、国の保険者努力支援制度や特別調整交付金、都道府県繰入金等について、対象事業内容の総点検及び必要に応じ見直しを行い、積極的に財源確保に取り組む。 ③各種保健事業等の取組の強化を行い、医療費の適正化を図る。

年度別の赤字削減予定額（率）※３

計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
年　　度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	
法定外繰入の削減予定額（率）	172,691　千円	49,309　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	532,120　千円
繰上充用金の新規増加分の削減予定額（率）	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円	0　千円
合計 赤字削減予定額（率）	172,691　千円	49,309　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	77,530　千円	532,120　千円

※１　国民健康保険事業の実施状況報告様式５の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。
※２　当該年度の繰上充用（当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる）の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。
※３　率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

報告事項
４　高松市国民健康保険料収納率向上プランの報告について

高松市国民健康保険料収納率向上プランに掲げる目標等の実績

（１）保険料の徴収状況（現年分）

	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５（目標）
保険料調定額(千円)	8,015,273	7,761,110	8,362,801	8,337,055	7,943,151	―
保険料収納額（千円）	7,248,152	7,039,572	7,642,255	7,631,643	7,253,016	―
保険料目標収納率（%）	―	―	―	―	91.60	92.00
保険料収納率（%）	90.43	90.70	91.38	91.54	91.31	―

（２）保険料の徴収状況（滞納繰越分）

	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５（目標）
保険料調定額(千円)	1,329,126	1,380,123	1,337,041	1,479,739	1,426,530	―
保険料収納額（千円）	325,906	329,232	354,068	356,527	325,461	―
不納欠損額（千円）	328,179	360,464	127,821	343,524	279,452	―
保険料目標収納率（%）	―	―	―	―	24.80	25.40
保険料収納率　　（%）	24.52	23.86	26.48	24.09	22.81	―

（３）窓口納付以外の納付率及び口座振替利用率

	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４
窓口納付以外目標納付率（%）	―	―	―	―	70.00
窓口納付以外納付率（%）	62.30	64.39	67.47	68.93	69.75
口座振替利用率　（%）	30.5	29.8	29.4	29.6	29.3

（４）滞納処分等の状況

		Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４
滞納処分	差押件数　（件）	28	78	22	26	31
	差押執行額　（千円）	9,586	6,074	5,300	10,013	8,304
	交付要求件数　（件）	25	30	38	21	23
	交付要求配当額（千円）	1,424	867	1,456	357	888
執行停止件数　（件）		0	0	13	2	265
執行停止額　（千円）		0	0	1,134	2,761	21,356

これまでの主な取組

主な取組	Ｈ３０	Ｒ元	Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ３⇒Ｒ４ 比較
コンビニ収納件数	92,572件	94,797件	102,602件	108,314件	111,753件	3.2%
口座振替利用率	31.0%	29.8%	29.4%	29.6%	29.3%	▲ 0.3%
ペイジーによる 口座振替受付件数	0件	0件	110件	269件	251件	▲ 6.7%

今後の主な取組予定

・ＷＥＢ口座振替受付サービスのシステム構築（Ｒ６．　４月開始予定）

・高額滞納世帯等の困難案件を対象とする「滞納対策チーム」による滞納整理の実施

・地方出入国在留管理局との意見交換や情報共有

※　各取組の進捗状況については【別冊Ｐ１２】参照

高松市国民健康保険料収納率向上プランにおける各取組の主な進捗状況

基本方針		進捗状況
①	滞納発生未然防止	・ＷＥＢ口座振替受付サービス開始に向けてサービス提供業者と協議開始 ・ペイジーによる口座振替の推進（R5.6月末　86件　参考：R4.6月末　78件） ・令和５年６月に各総合センターに出向き、口座振替推進の出張説明会の開催 ・口座振替推進チラシ（500部）の作製、令和５年７月から国保窓口にてチラシ配布 ・商業施設におけるデジタルサイネージによる保険料の納期内納付の啓発
②	滞納世帯への対応	・預貯金等財産調査の実施（R5.7月末　預金調査：782件　保険調査：122件） ・滞納対策チームを発足し、令和５年７月２７日に第１回打合せ会を開催
③	納付困難世帯への対応	・令和５年２月に文書催告後に反応のない市外転出世帯へ納付書を個別送付 （448世帯に送付し、93世帯　1,691千円の納付あり） ・生活困窮者に対し、庁内関係部署を始め、関係機関に積極的に案内

※　各取組の進捗状況については【別冊Ｐ１２】参照

報告事項
５　第２期高松市データヘルス計画の仮評価について

１．第２期計画の位置づけ

第６次高松市総合計画

まちづくりの目標

健やかに　いきいきと　暮らせるまち

【基本理念の共有、調和】

- 高松市健康都市推進ビジョン
- 高松市高齢者保健福祉計画
- 高松市特定健康診査等実施計画
- 第２期高松市データヘルス計画（第３期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画）

調　和

【国】
・健康日本２１

【県】
・健やか香川２１ヘルスプラン
・香川県高齢者保健福祉計画
・香川県保健医療計画
・香川県医療費適正化計画

２．第２期計画の計画期間と実施体制

≪計画期間≫

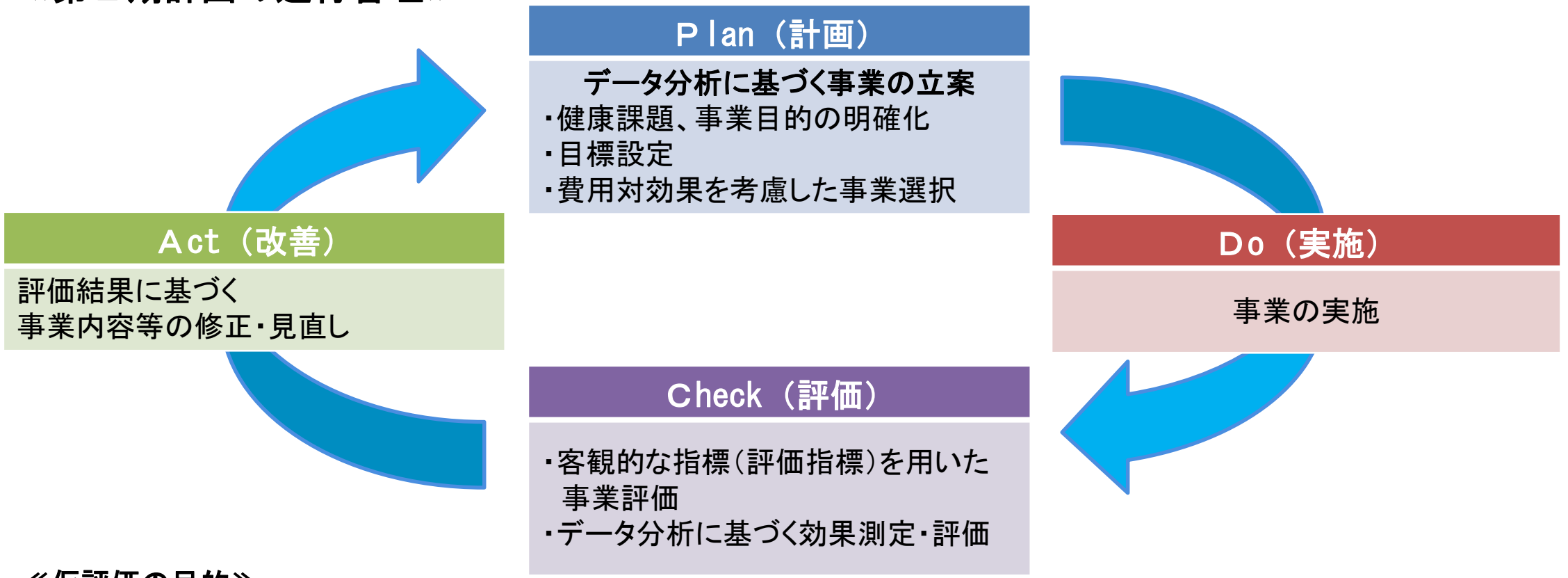
計画等	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第２期高松市データヘルス計画	平成30年度～令和５年度					
高松市健康都市推進ビジョン	平成26年度～令和６年度					
高松市高齢者保健福祉計画	（第７期）平成30年度～令和２年度			（第８期）令和３年度～５年度		
高松市特定健康診査等実施計画	（第３期）平成30年度～令和５年度					
第６次高松市総合計画	平成28年度～令和５年度					

≪実施体制≫

区分	名　称　等		
庁　　内	高松市保険給付費適正化プロジェクトチーム	主体	国保・高齢者医療課
		関係課	政策課、コミュニティ推進課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、健康づくり推進課、産業振興課
外部団体	高松市国民健康保険運営協議会		

３．第２期計画の進行管理と仮評価の目的

≪第２期計画の進行管理≫



≪仮評価の目的≫

本計画は、これまで、毎年の単年度評価を実施しているほか、計画期間の中間年度（令和２年度）に中間評価を実施し、その結果を踏まえて、事業の追加及び評価指標の見直しを行っています。

計画期間の最終年度である令和５年度においては、次期計画策定の参考とするため、上半期に、平成３０年度から令和４年度までの５年間における各目標の達成状況等を「仮評価」するものです。

４．第２期計画の仮評価（分野別総括表）

≪分野別評価総括表≫

分野	目標数	評価指標数	評価（目標値の数：１７）						事業数	評価指標数	評価（目標値の数：４０）					
			5	4	3	2	1	外			5	4	3	2	1	外
①　国民健康保険に関する目標と事業	６	８	3	4	1				１４	２８	5	10	7	1	4	1
②　介護保険に関する目標と事業	４	４	2	2					５	６	1	2	2	1		
③　共通の目標と事業	３	５		1		2		2	５	６	3		1		2	
計	１３	１７	5	7	1	2		2	２４	４０	9	12	10	2	6	1

≪目標達成の評価基準≫

評価	評価基準
５	達成率100%以上　（目標を達成している）
４	達成率85%以上100%未満　（目標をおおむね達成している）
３	達成率70%以上85%未満　（目標をある程度達成している）
２	達成率60%以上70%未満　（目標をやや下回っている）
１	達成率60%未満　（目標をかなり下回っている）
外	評価対象外　（個別事情により評価不可となったもの）

※１つの目標に対し複数の評価指標を設定しているものもある。

※１つの事業に対し複数の評価指標を設定しているものもある。

※複数の事業に同じ評価指標を設定しているものもあり、重複してカウントしている。

５．第２期計画の仮評価（目標・事業別評価）（１）

①　国民健康保険に関する目標と事業

目標		評価 男	評価 女	事業		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	評価 外
1	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少	3	4	（１）	特定健診			1			
				（２）	特定健診未受診者受診勧奨事業			(1)			
				（３）	特定保健指導		1’			1	
				（４）	健康ポイント事業			(1)			
2	特定健診受診者のうち、血糖コントロール不良者の割合の減少	5		（５）	糖尿病予防教室	1’		1			
				（６）	糖尿病要医療受診勧奨推進事業		1’	1			
				（７）	糖尿病治療中断者再受診勧奨事業					1’ 1	
3	特定健診受診者のうち、腎機能が低下している人の割合の上昇の抑制	4		（８）	慢性腎臓病（CKD）予防対策【保健指導】				1		1
				（９）	慢性腎臓病（CKD）予防対策【受診勧奨】	1					
4	人工透析患者数の上昇の抑制	5		(10)	糖尿病性腎症重症化予防		1				
5	がんの年齢調整死亡率の減少	4	5	(11)	がん検診	3	6	1			
6	国民健康保険被保険者１人当たりの保険給付費の上昇の抑制	4		(12)	ジェネリック医薬品の使用促進事業		1				
				(13)	重複・頻回受診対策事業					1	
				(14)	重複・多剤服薬者対策事業			1			

(1) 特定健診と同じ評価指標

（注）「１’」は、現時点で令和４年度評価ができないため３年度評価を仮評価としている。
「外」は、現時点で令和４年度評価ができない上、２・３年度もコロナ禍で予防教室をしていないため、評価外としている。

５．第２期計画の仮評価（目標・事業別評価）（２）

②　介護保険に関する目標と事業

目標		評価	事業		評価					
					５	４	３	２	１	外
７	介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合の維持	５	(15)	要介護（要支援）認定者のサービス未利用者対策	1					
			(16)	高齢者居場所づくり事業		1				
８	介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合の維持	５	(17)	介護予防普及啓発事業			1	1		
			(18)	瓦町健康ステーション事業			1			
９	要支援認定者（サービス利用者）の維持改善	４	(19)	介護予防ケアマネジメント		1				
１０	１人当たりの介護サービス費の上昇の抑制	４	（15）～（19）及び（20）～（24）の事業							

５．第２期計画の仮評価（目標・事業別評価）（３）

③　共通の目標と事業

目標			評価 男	評価 女	事業		評価 5	4	3	2	1	外
１１	健康づくりや介護予防に対する市民の意識の向上		４		(20)	保険給付費適正化に関する周知啓発活動	2					
１２	健康づくりのための運動の推進	運動習慣	２		(21)	ウォーキングマップを活用した健康づくり事業					1	
					(22)	運動推進普及啓発事業					1	
		身体活動	２		(23)	運動習慣獲得の出前健康教室	1					
					(24)	運動教室			1			
１３	健康寿命と平均寿命の差の縮小		○	○	（1）～（11）及び（14）～（24）の事業							

※１３「健康寿命と平均寿命の差の縮小」の「○」は、平成３０年度に比べ縮小したことを示す。

６．第２期計画の仮評価（各目標の達成状況と課題）（１）

（再掲）

目標		評価 男	評価 女	事業		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	評価 外
1	特定健診受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合の減少	３	４	（１）	特定健診			1			
				（２）	特定健診未受診者受診勧奨事業			(1)			
				（３）	特定保健指導		1’			1	
				（４）	健康ポイント事業			(1)			

達成状況と課題

＜目標１＞

メタボリックシンドロームに関する目標は、女性はおおむね目標値を達成できているものの、男性は目標値を下回っている。

生活習慣病の発症又は重症化を予防する観点から、今後とも、特定健康診査の受診率の向上を図るとともに、コロナ禍において低下した特定保健指導終了率の回復を図る必要がある。

６．第２期計画の仮評価（各目標の達成状況と課題）（２）

（再掲）

目標		評価 男	評価 女	事業		評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	評価 外
2	特定健診受診者のうち、血糖コントロール不良者の割合の減少	5		（5）	糖尿病予防教室	1’		1			
				（6）	糖尿病要医療受診勧奨推進事業		1’	1			
				（7）	糖尿病治療中断者再受診勧奨事業					1’ 1	
3	特定健診受診者のうち、腎機能が低下している人の割合の上昇の抑制	4		（8）	慢性腎臓病（CKD）予防対策【保健指導】				1		1
				（9）	慢性腎臓病（CKD）予防対策【受診勧奨】	1					
4	人工透析患者数の上昇の抑制	5		（10）	糖尿病性腎症重症化予防		1				

達成状況と課題

＜目標２，３，４＞

腎機能及び人工透析に関する目標は、おおむね目標値を達成できている。

糖尿病性腎症重症化予防対策は、国及び県において優先されるべき健康課題として、香川県において「香川県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が策定されていることから、低い評価となっている個別事業（７）及び（８）については、同プログラムとの整合性に留意しながら、効果的な事業手法を検討する必要がある。

６．第２期計画の仮評価（各目標の達成状況と課題）（３）

（再掲）

目標		評価		事業		評価					
		男	女			5	4	3	2	1	外
5	がんの年齢調整死亡率の減少	4	5	(11)	がん検診	3	6	1			
6	国民健康保険被保険者１人当たりの保険給付費の上昇の抑制	4		(12)	ジェネリック医薬品の使用促進事業		1				
				(13)	重複・頻回受診対策事業					1	
				(14)	重複・多剤服薬者対策事業			1			

達成状況と課題

＜目標５＞
　がんに関する目標は、おおむね目標値を達成できている。
　全国的に優先されるべき健康課題であることから、今後とも取組を継続し、各種がん検診受診率の向上を図る必要がある。
＜目標６＞
　国民健康保険の保険給付費に関する目標は、おおむね目標値を達成できている。
　個別事業（12）は、全国共通の目標値（８０%）を下回っていることから、ジェネリック医薬品の供給状況に留意しながら、効果的な事業手法を検討する必要がある。また、（13）は、改善傾向にあるものの、目標値を下回っていることから、対象者の特性にも留意しながら、効果的な事業手法を検討する必要がある。

６．第２期計画の仮評価（各目標の達成状況と課題）（４）

（再掲）

目標		評価	事業		評価					
					5	4	3	2	1	外
7	介護・支援を必要としていない６５歳以上の高齢者の割合の維持	5	(15)	要介護（要支援）認定者のサービス未利用者対策	1					
			(16)	高齢者居場所づくり事業		1				
8	介護・支援を必要としていない７５歳以上の高齢者の割合の維持	5	(17)	介護予防普及啓発事業			1	1		
			(18)	瓦町健康ステーション事業			1			
9	要支援認定（サービス利用者）の維持改善	4	(19)	介護予防ケアマネジメント		1				
10	１人当たりの介護サービス費の上昇の抑制	4	（15）～（19）及び（20）～（24）の事業							

達成状況と課題

＜目標７，８，９，１０＞

個別事業（17）、（19）等に取り組んだ結果、介護保険に関する目標は、おおむね目標値を達成できている。

しかし、目標１０に設定している、１人当たりの介護サービス費は、抑制できているものの、上昇傾向にあることから、今後とも取組を継続し、フレイル予防を図る必要がある。

６．第２期計画の仮評価（各目標の達成状況と課題）（５）

（再掲）

目標			評価 男	評価 女	事業		評価 5	4	3	2	1	外
１１	健康づくりや介護予防に対する市民の意識の向上		4		（20）	保険給付費適正化に関する周知啓発活動	2					
１２	健康づくりのための運動の推進	運動習慣	2		（21）	ウォーキングマップを活用した健康づくり事業					1	
					（22）	運動推進普及啓発事業					1	
		身体活動	2		（23）	運動習慣獲得の出前健康教室	1					
					（24）	運動教室			1			
１３	健康寿命と平均寿命の差の縮小		○	○	（1）～（11）及び（14）～（24）の事業							

※１３「健康寿命と平均寿命の差の縮小」の「○」は、平成３０年度に比べ縮小したことを示す。

達成状況と課題

＜目標１１，１２，１３＞

健康づくりや介護予防に対する市民の意識に関する目標は、おおむね目標値を達成できている。

しかし、健康づくりのための運動に関する目標は、特定健康診査における質問票において汗をかく運動習慣、歩行などの身体活動習慣があると回答した方の割合が改善せず、「２」の評価となった。

個別事業においては、コロナ禍の影響を受けて目標値を達成できなかった事業がある一方で、参加者が増加した事業もあったことから、効果的な事業手法を検討する必要がある。

なお、健康寿命と平均寿命の差に関する目標は、達成できている。

７．第２期計画の仮評価（全体のまとめ）

目標の達成状況

○「国民健康保険に関する目標」のうち、男性の「メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合」に係る評価は「３」だが、他の目標に係る評価は「５」又は「４」であり、国民健康保険の保険給付費の上昇抑制に資することができている。
　・各種がん検診の受診率は、全て改善することができている。
○「介護保険に関する目標」の評価は「５」又は「４」であり、介護保険の保険給付費の上昇を抑制することができているものの、上昇傾向にあることから、今後とも各種取組を継続し、フレイル予防を図る必要がある。
○「共通の目標」に関する目標のうち、「健康づくりや介護予防に対する市民の意識」に係る評価は「４」であり、「健康寿命と平均寿命の差」も縮小できたが、「健康づくりのための運動の推進」に係る評価は「２」であり、運動習慣の普及・啓発に課題が残る結果となっている。
★　個別事業においては、評価が「１」、「２」、「３」の事業が、全体の４５％を占めている。
　　⇒　コロナ禍により、実施体制や実施期間を縮小したことや、市民の方の外出控えの傾向の影響を受けたこと等も、一因として考えられる。

今後の課題

○「特定健康診査の受診率」や「特定保健指導終了率」を上昇させるために、関心の低い層に向けた取組の強化

○「健康寿命と平均寿命の差」を更に縮小させるために、フレイル予防や運動習慣の普及に関する取組の強化

○アフターコロナの時代においても成果を上げるために、「新しい生活様式」の広がりを踏まえた事業手法を検討